

第2節 新規学校卒業就職者の離職状況

【福井労働局職業安定課】

新規学校卒業就職者が、自己の能力を十分に発揮して充実した職業生活を営み、健全な社会人に成長していくことは、社会全体にとって重要なことです。

しかしながら、新規学校卒業就職者の就職後3年間の離職率は高く、その要因はさまざまであるが、早期に離職することは本人や企業にとって大きな損失になるといえます。

新規学校卒業就職者の早期離職を防止し職場への定着を図るため、在学中の早い段階からの職業意識啓発・職業指導と就職後の職場定着に関する指導・援助などが重要です。

離職の状況

高等学校卒業就職者

高等学校卒業就職者の離職状況を在職期間別にみると、就職して初年度の1年間に離職する者が多くなっている。

これを平成31年3月卒業就職者の状況でみると、1年目の離職率は13.9%、3年間では34.8%となっている。

<参考>

平成27年3月卒業就職者	3年間の離職率	34.9%
平成28年3月卒業就職者	3年間の離職率	34.9%
平成29年3月卒業就職者	3年間の離職率	33.5%
平成30年3月卒業就職者	3年間の離職率	32.7%

第31表 新規高等学校卒業就職者の在職期間別離職率

(単位：%)

区分	31年3月卒		2年3月卒		3年3月卒	
	福井県	全国	福井県	全国	福井県	全国
1年目	13.9	16.3	11.9	15.0	15.8	16.6
2年目	10.2	10.0	12.6	11.7	—	—
3年目	10.7	9.6	—	—	—	—
計	34.8	35.9	24.5	26.7	15.8	16.6

注：各年度中に離職した者の率

資料出所：福井労働局職業安定課

第 32 表 産業別離職状況（平成 31 年 3 月卒 3 年後）

（単位：％）

産 業	新規高等学校卒業就職者	
	福井県	全国
産 業 計	34.8	35.9
鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	27.1
建設業	39.1	42.2
製造業	28.2	26.3
電気・ガス・熱供給・水道業	5.0	10.1
情報通信業	37.5	37.1
運輸業、郵便業	32.3	32.7
卸売業	27.4	38.3
小売業	53.7	47.6
金融・保険業	11.1	29.5
不動産業、物品賃貸業	60.0	44.3
学術研究、専門・技術サービス業	58.8	36.3
宿泊業、飲食サービス業	57.4	60.6
生活関連サービス業、娯楽業	69.4	57.2
教育、学習支援業	0.0	53.5
医療、福祉	38.1	45.2
複合サービス事業	42.1	25.2
サービス業（他に分類されないもの）	38.2	39.6
その他	60.0	51.5

資料出所：福井労働局職業安定課